



ア スパラガス選果場安全祈願祭並び 出荷式が行なわれました

5月7日、もがみ中央農業協同組合東部営農センター集出荷場にて「安全祈願祭並び出荷式」が行なわれ、長野・関東方面の市場に向け、朝採りの新鮮なアスパラガスが出荷されました。昨年は、夏場の高温・乾燥の影響により、低調な出荷量でした。式では今年を昨年を上回る出荷量を目指し、より良い品質のアスパラガスが豊作となるよう出席者全員で祈願しました。夏の訪れとともに、最上町の農作業も活気に満ちているところです。

自 分の夢や目標を見つける 「もがみ未来塾」18企業・団体が参加

5月31日、最上中学校で「もがみ未来塾」が開催されました。この事業は今年で3年目を迎え、子どもたちに将来自分が就きたい職業や、夢と目標を見つけてもらうために企画したもので、今年度は18の企業、団体（※昨年度は12）が参加。生徒たちは普段の学校生活では中々学ぶことのできない貴重な体験に目を輝かせていました。



地 域おこし協力隊員として 新たに川原田優さんが就任しました

はじめまして、令和6年6月より新たに地域おこし協力隊となりました川原田優です。これから最上町観光協会の一員として、道の駅もがみ「あつつえ」を拠点に活動していきます。最上町は母と祖父母の出身地で、幼い頃から訪れている馴染み深い場所であり、その様な場所で活動できることを楽しみにしております。これからは前職であるITエンジニアで培ったノウハウを活かして、最上町の情報を国内外に発信していきたいと考えております。

川原田 優
(かわはらた ゆう) 25歳
出身：宮城県大衡村

最上町の皆様とも町内のイベント等を通じて交流できることを楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

人 権の花運動 小中学校で花の植栽

最上町人権擁護推進協議会では、毎年、生徒や児童と協力して花を植栽しています。育てることを通じて、命の大切さや相手への思いやる気持ち、また、「基本的人権を尊重する精神」を身につけてもらうことを目的として、『人権の花』運動を実施しています。

今年度も、町内の小中学校において、合わせて420本の『人権の花』が植えられ、各学校の玄関前などに飾られました。



写真：大堀小学校の児童と人権擁護委員のみなさん3、4年生が協力して、花壇を「人権の花」でいっぱいにしてくれました。

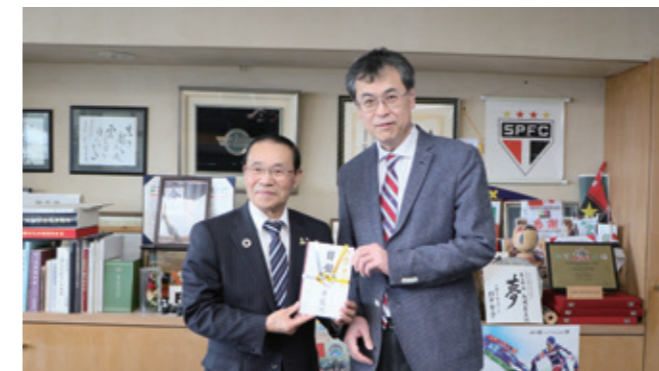


齊藤菊雄さんが黄綬褒章を受章

齊藤菊雄さん（下白川）が春の褒章で黄綬褒章を受章しました。齊藤さんは平成16年に設立された「最上町アスパラガス生産協議会」初代会長として、アスパラガスの産地形成を目指し、生産拡大や技術普及、担い手の育成に尽力されました。その功績から最上町はアスパラガスの一大産地として成長し、高品質のアスパラガスは市場で高評価を受けるブランドとなっています。齊藤さんは「この度の受章は、家族や行政、JA など皆さんの協力のおかげです。」と受章の喜びを語ってくれました。栄えある受章、誠にありがとうございます。

浅井真さんが東北管区行政評価局長表彰を受賞

行政相談委員の浅井真さん（細の原）が総務省の東北管区行政評価局長表彰を受賞しました。浅井さんは平成29年4月から行政相談委員に委嘱され、業績が他の模範となるものであったことから今回の受賞となりました。行政相談委員は、住民の皆様から行政に関する様々な困りごとをお伺いし、相談者と行政機関との間に立って、課題解決の促進に取り組んでいます。医療保険・年金、道路整備、窓口サービスなど多岐にわたって相談を受け付けており、どこに相談したら良いかわからないといった場合、適切な相談窓口をお伝えするなど町民の皆様と行政の「懸け橋」として相談活動を行なっております。



町の教育のために使ってほしい 永井俊一氏より寄付金の贈呈

4月12日、町内の診療所「永井医院」の院長を務める永井俊一氏より町の子どものためにと町に対し寄付の贈呈がありました。永井氏からは「町の発展と子どもたちの教育のために使ってほしい。」という願いを込めて寄付していただきました。今後、頂いた寄付金は町の奨学金などで有効活用していきます。

大 堀小学校の児童が 釣り堀に鮎の稚魚を放流

4月23日、「道の駅もがみ」付近に鮎の釣り堀などが体験できる「森のふれあいランド」が仮オープンしました。オープニングセレモニーとして、大堀小学校の5、6年生児童が釣り堀へ5,000匹の鮎の稚魚の放流。その後釣り堀体験を行ないました。釣り堀は無料となっており、10月頃まで楽しめます。

